

歯科医師の皆様へ（病院）

「歯科医師の勤務実態等に関する調査」へのご協力をお願い

厚生労働科学特別研究事業

「歯科医師の勤務実態等の調査研究班（H30-特別-指定-010）」

研究代表者 三浦宏子

■本調査について

我が国の歯科保健医療を取り巻く環境は、少子高齢化を背景に歯科保健医療の重要性が再認識されており、時代の変化とともにそのニーズも大きく変化しています。厚生労働省においては、新しい時代にふさわしい歯科保健医療供給体制の構築を目指し、病院における歯科保健医療のあり方や地域連携・病診連携の現状ならびに現在の歯科医師の勤務実態・キャリア意識等を適切に把握するために、本アンケート調査を行うこととなりました。本調査の分析結果は、今後の歯科医療を推進するうえでの歯科医師の働き方を検討するための基礎資料となります。未来の歯科医療をより良いものにするため、ご協力くださいますようお願い致します。

本調査は無記名で実施されるものであり、回答後の調査票については添付の提出用封筒にて回収する等、データ保全に十分に配慮し、調査を行います。

調査票に記入されましたら、必ず添付の提出用封筒（淡い緑色）にて封入したうえで、貴施設の管理者（もしくは事務ご担当者様）に11月28日（水）までに、お渡しください。管理者に別途ご依頼している施設調査票と併せて、研究班あてに一括返送していただきます。

■本調査により、予想される利益・不利益

これまで詳細なデータが不足していた病院に勤務する歯科医師の勤務実態を把握することにより、歯科保健医療供給体制の在り方を検討するための基礎資料と致します。得られたデータは、厚生労働省での関連検討会での活用が予定されています。また、本調査は無記名回答であり、ご回答いただいた内容から施設・個人を特定することはございませんので、ご安心下さい。

■自由意思での参加と参加同意の撤回について

本調査への協力は自由です。なお、無記名で実施するため、調査票を提出いただいた後で同意撤回を希望される場合、該当する調査票を特定し、除外することができない点について、予めご了承下さい。

■情報の取り扱いについて

回収した調査票ならびにデータについては、第三者の目に触れないように厳重に管理致します。また、得られた調査結果は、上述したように施策の基礎資料とする他、集計後の値を専門学会や学術誌に公表する可能性がございます。

■研究倫理について

本調査は、厚生労働省・国立保健医療科学院・研究倫理審査会にて、平成30年9月14日に承認を受けております。

■本調査のお問い合わせ先

厚生労働科学特別研究事業「歯科医師の勤務実態等の調査研究班」事務局

電話番号：0120-225137（受付時間：平日 9：00-17：00、12月14日（金）まで）

歯科医師の勤務実態等に関する調査

歯科医師調査票（病院用）

厚生労働科学特別研究事業

厚生労働省医政局

2018年11月

<ご回答される歯科医師の皆さまへ>

○厚生労働省においては、新しい時代にふさわしい歯科保健医療供給体制の構築を目指し、歯科保健医療のあり方や地域連携・病診連携の現状ならびに現在の歯科医師の勤務実態・キャリア意識等を把握するために、本調査を行うこととなりました。

本調査の分析結果は、今後の歯科医療を推進するための歯科医師の働き方を検討するための基礎資料となります。未来の歯科医療をより良いものにするため、ご協力くださいますようお願い致します。

○本調査のデータは、個人が識別される形で集計を行うことはありません。また、皆さまが勤務されている医療機関に、個人が特定される形で調査票・データを提供することはありません。

<記入にあたっての注意事項>

○貴院にて常勤勤務されている全ての歯科医師の皆様にご回答をお願いします。

なお、複数の医療施設で勤務されている非常勤の歯科医師におかれましては、主たる勤務先でのみ提出するようお願い致します。

○提出にあたっては、添付の提出用封筒にて入れて密封し、職場での取りまとめ者の方にご提出ください。

○同封している調査票が不足した場合は下記の URL に記載する研究班のサイト（QR コード）よりダウンロードしていただき、お手持ちの封筒にてご提出下さい。

ダウンロードサイト：<http://dentistsurvey.umin.jp/>



○ご回答は、当てはまる番号を○印で囲んでいただくか、数字をご記入下さい。

また、鉛筆または黒・青のボールペンでご記入ください。

○本調査票は、職場で取りまとめ者の方に 11月28日（水）までに提出してください。

<お問い合わせ先>

厚生労働科学特別研究事業「歯科医師の勤務実態等の調査研究班」 事務局

電話番号：0120-225137（受付時間：平日 9：00-17：00、12月14日（金）まで）

◎説明文書（調査へのご協力をお願い）の内容をご確認いただき、下記の口に✓を記入したうえで回答を行ってください。 (確認欄) 説明文書の内容を確認しました

問1 ご本人の情報（平成30年11月1日現在）についてお答えください。

① 年齢	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 歳（※）右詰めでご記入ください。
② 性別	01 男性 02 女性
③ 出身歯学部のある所在地	<input type="text"/> 都・道・府・県
④ 歯学部の卒業年度	西暦 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 年度
⑤ 現在の居住地	<input type="text"/> 都・道・府・県 <input type="text"/> 市・区・町・村
⑥ 出身地 (※)高校等を卒業する前までに過ごした期間が最も長い場所	<input type="text"/> 都・道・府・県 (※) 外国籍の方は左欄に出身国名をご記入ください)
⑦ 臨床研修の状況	01 臨床研修中ではない 02 臨床研修中である
⑧ 勤務形態 (※) ○は1つ	01 病院管理者 02 勤務医(常勤) 03 勤務医(非常勤)
⑨ 診療分野 (※) 該当するもの全てに○	01 歯科(保存、補綴等を含む) 02 矯正歯科 03 小児歯科 04 歯科口腔外科 05 その他()
⑩ 専門医資格の有無 (※) 該当するもの全てに○	01 口腔外科専門医 02 歯周病専門医 03 歯科麻酔専門医 04 小児歯科専門医 05 歯科放射線専門医 06 01~05に該当なし
⑪ 同居家族の有無 (※) 該当するもの全てに○	01 配偶者又はパートナー 02 親(配偶者等の親を含む) 03 子ども 04 その他 05 同居者なし

◎下記の⑫・⑬は前問⑪で「01 配偶者又はパートナー」と回答された方のみお答えください。

⑫ 配偶者又はパートナーの職業 (※) ○は1つ	01 歯科医師 02 医師 03 歯科衛生士 04 歯科技工士 05 その他の医療職 06 その他 07 無職
⑬ 配偶者又はパートナーの勤務形態 (※) ○は1つ	01 常勤 02 非常勤 03 自営 04 無職

問2 主たる勤務先の診療形態（平成30年11月1日現在）についてお答えください。

患者への診療形態 (※) ○は1つ	01 単独主治医制 02 複数主治医制 03 その他
----------------------	----------------------------

(※) 所属されている診療科の診療形態についてお答えください。

(※) 単独主治医制：1人の患者につき1人の主治医が担当する場合

複数主治医制：1人の患者につき複数の主治医が担当する場合。勤務時間外に対応が必要となった場合、基本的に当番の医師が対応する体制を取っている場合も含まれます。

問3 主たる勤務先と、（もしあれば）その他の勤務先における10月の勤務状況についてお答えください。

① 10月の勤務日数、当直（日直・宿直）・オンコール回数		勤務日数	当直（日直）		
			日直	宿直	オンコール
	主たる勤務先	日	日	日	日
	その他の勤務先	日	日	日	日
(※) 勤務日数は、1時間でも働けば1日と換算してください。 (※) 当直は、通常の勤務時間とは別に、院内に待機して応急患者に対して診療等の対応を行う勤務であり、そのうち、日直は昼間の時間帯、宿直は夜間の時間帯に行うものをお答えください。 (※) オンコールは、通常の勤務時間とは別に、院外に待機して応急患者に対して診療等の対応を行う勤務をお答え下さい。ただし、実際に患者に対して診療等の対応を行ったかどうかは問いません。					
② 主たる勤務先での訪問歯科診療の担当状況	歯科訪問診療料の算定回数		回		
(※) 10月1か月間の診療報酬上の算定回数をご記入ください。					
③ 2017年（昨年）に取得した年次有給休暇の日数 (※) ○は1つ	01 取得していない	02 1～5日	03 6～10日		
	04 11～15日	05 16日以上			

〔◎管理者以外の勤務医の方のみ、問4～問7にお答えください。〕
 ◎管理者の方は次頁の問8へお進みください。

問4 現在、大学の医局に所属していますか？ 所属していない場合、今後、所属する予定はありますか？

(※) 異動や労働条件の決定など、人事上の重要な事項について、大学の医局（またはそれに近い組織）が影響を及ぼしている場合について、医局に所属しているとみなします。

01 所属している
02 所属していないが、今後所属する予定である
03 所属しておらず、今後所属する予定もない

問5 今後のキャリアとして、次のうちどれを希望しますか？ 次の【選択肢】より第1希望、第2希望をお答えください。

選択肢		
01 臨床（勤務）	02 臨床（開業）	03 行政職（地方・中央機関を含む）
04 研究教育（大学や研究機関）	05 その他（ ）	

第1希望の番号

第2希望の番号

問6 今後、東京都23区及び政令指定都市、県庁所在地等の都市部以外で勤務する意思がありますか？

01 ある（⇒ 問8へ）	02 ない（⇒ 問7へ）
--------------	--------------

問7 都市部以外で勤務する意思がない理由を、次の【選択肢】より1位から3位までお答えください。

選択肢		
01 希望する内容の仕事を継続するため	02 経済的理由（収入・待遇）のため	
03 医局の人事等の関係もあり選択の余地がないため		
04 労働環境に不安があるため	05 子どもの教育環境が整っていないため	
06 家族の理解が得られないため	07 両親等親族の介護のため	
08 その他（ ）		

第1位の番号

第2位の番号

第3位の番号

☆ 育児の状況についてお伺いします。

問8 これまで育児の経験はありますか？ (※) 男女ともにご記入下さい。

- 01 経験がある (⇒ 問9～問14へ) 02 経験がない (⇒ 問17へ)

〔◎問8で「01 経験がある」と回答された方は、問9～問14にお答えください。
◎問8で「02 経験がない」と回答された方は、次頁の問17にお進みください。〕

問9 ご自身もしくは配偶者又はパートナーの方が産前産後休暇を取得した経験はありますか？

- 01 自分が取得した 02 配偶者が取得した 03 どちらも取得したことがない

問10 育児を最も中心的に行った(行っている)方をお答えください。(※) 直近の育児経験についてお答えください。

- 01 自分 02 配偶者又はパートナー 03 親族 04 その他

問11 保育所を利用した(利用している)経験はありますか？ 当てはまるものを全てお答えください。

- 01 認可保育所を利用 02 無認可保育所を利用 03 どちらも利用したことがない

問12 未就学児の育児中(育児休業中を除く)の実際の働き方はどうでしたか(どうされていますか)？ 当てはまるものを全てお答えください。

- 01 子育て前と変化なし 02 時間短縮勤務(1日____時間程度勤務)
03 勤務日数減(週____日勤務) 04 業務内容軽減
05 研究生・大学院生 06 休職・離職

問13 未就学児の育児中(育児休業中を除く)にあなたが希望した(する)働き方はどのようなものでしたか(ですか)？ 当てはまるものを全てお答えください。

- 01 子育て前と変化なし 02 時間短縮勤務(1日____時間程度勤務)
03 勤務日数減(週____日勤務) 04 業務内容軽減
05 研究生・大学院生 06 休職・離職

問14 育児休業を取得しましたか？ 当てはまるものを全てお答えください。

- 01 自分が取得した (⇒ 問17へ) 02 配偶者又はパートナーが取得した (⇒ 問17へ)
03 取得せずに勤務継続した (⇒ 問17へ)
04 取得せずに自分が離職した (⇒ 問15へ) 05 取得せずに配偶者又はパートナーが離職した (⇒ 問15へ)

〔◎問14で「04 取得せずに自分が離職した」又は「05 取得せずに配偶者が離職した」と回答された方は、問15にお答えください。
◎上記以外の方は、次頁の問17にお進みください。〕

問15 勤務の継続を希望されていましたか？

- 01 希望していた (⇒ 問16へ) 02 希望していなかった (⇒ 問17へ)

問16 どのような取り組みがあれば、離職せずに勤務を継続できる、あるいは勤務を継続できたと思いますか？ 最も有効と思われる取り組みを、次の【選択肢】より1位から3位までお答え下さい。

選択肢

- 01 院内保育施設の設置・充実 02 ベビーシッター費用の所得控除
03 育児休業給付金の増額 04 給与の増加
05 育児休業の取得 06 必要時に勤務を交替してくれる人員の確保
07 有給休暇の取得促進 08 他職種との分担による業務負担軽減
09 時間外業務の縮減 10 短時間勤務の推進

第1位の番号

第2位の番号

第3位の番号

☆ 介護の状況についてお伺いします。

問17 これまで在宅での介護の経験はありますか？

- 01 経験がある (⇒ 問18～問21へ) 02 経験がない (⇒ 問24へ)

〔◎問17で「01 経験がある」と回答された方は、問18～問21にお答えください。〕
〔◎問17で「02 経験がない」と回答された方は、次頁の問24にお進みください。〕

問18 介護を最も中心的に行った（行っている）方をお答えください。（※）直近の在宅介護経験についてお答えください。

- 01 自分 02 配偶者又はパートナー 03 親族 04 その他

問19 介護中（介護休業中を除く）の実際の働き方はどうでしたか（どうされていますか）？ 当てはまるものを全てお答えください。

- 01 介護前と変化なし 02 時間短縮勤務（1日_____時間程度勤務）
03 勤務日数減（週_____日勤務） 04 業務内容軽減
05 研究生・大学院生 06 休職・離職

問20 介護中（介護休業中を除く）にあなたが希望した（する）働き方はどのようなものでしたか（ですか）？ 当てはまるものを全てお答えください。

- 01 介護前と変化なし 02 時間短縮勤務（1日_____時間程度勤務）
03 勤務日数減（週_____日勤務） 04 業務内容軽減
05 研究生・大学院生 06 休職・離職

問21 介護休業を取得しましたか？ 当てはまるものを全てお答えください。

- 01 自分が取得した (⇒ 問24へ) 02 配偶者又はパートナーが取得した (⇒ 問24へ)
03 取得せずに勤務継続した (⇒ 問24へ)
04 取得せずに自分が離職した (⇒ 問22へ) 05 取得せずに配偶者又はパートナーが離職した (⇒ 問22へ)

〔◎問21で「04 取得せずに自分が離職した」又は「05 取得せずに配偶者が離職した」と回答された方は、問22にお答えください。〕
〔◎上記以外の方は、次頁の問24にお進みください。〕

問22 勤務の継続を希望されていましたか？

- 01 希望していた (⇒ 問23へ) 02 希望していなかった (⇒ 問24へ)

問23 どのような取り組みがあれば、離職せずに勤務を継続できる、あるいは勤務を継続できたと思いますか？ 最も有効と思われる取り組みを、次の【選択肢】より1位から3位までお答え下さい。

選択肢

- 01 院内介護施設の設置・充実 02 ヘルパー費用の所得控除
03 介護休業給付金の増額 04 給与の増加
05 介護休業の取得 06 必要時に勤務を交替してくれる人員の確保
07 有給休暇の取得促進 08 他職種との分担による業務負担軽減
09 時間外業務の縮減 10 短時間勤務の推進

第1位の番号

第2位の番号

第3位の番号

☆ 実際の勤務の状況について記録をお願いいたします。

問24 11月15日(木)～11月21日(水)の労働時間について、下記の注意事項・用語の定義・記入例を参考に、次頁の表に記入してください。
11月21日(水)については、問25・問26に関連した設問がありますので、予めご確認ください。

注意事項

- ・主たる勤務先だけでなく、その他の勤務先の労働時間についても併せて記入ください。
- ・「勤務日」「休日」のうち、該当するもの一つに○を付けてください。
- ・労働時間は30分単位で記入してください。30分に満たない場合は、その30分で最も多くの時間を費やした領域を選んで記入してください。
- ・「院内診療」には、(外勤先があればそれも含めて)外来診療、入院診療に従事した時間を矢印で記入してください。ケースカンファレンス等の診療に関する打ち合わせも含んで下さい。
- ・「訪問診療」には、院外での在宅歯科診療や高齢者施設での歯科診療に従事(準備及び移動を含む)時間を矢印で記入してください。
- ・「教育」には、研修歯科医等の他の歯科医師、歯科衛生士や事務職員等の他職種への教育やその準備に費やした時間を矢印で記入して下さい。なお、研修歯科医にご自身の診療を見学させていた場合は、「教育」ではなく、「院内診療」もしくは「訪問診療」に、その時間を矢印で記入して下さい。
- ・「研究・自己研修」には、実験や調査、論文執筆等に費やした時間や、学習(例：歯学雑誌や歯学書・eラーニング等に目を通す)や研修(例：スタディグループや講習会・講演会・説明会等への参加)のために費やした時間を矢印で記入して下さい。また、研究に伴う事務作業やカンファレンスの時間も「研究・自己研修」の時間と考えて下さい。
- ・「会議・管理業務等」には、院内での会議や管理業務(診察に直接関係のない会議や委員会への参加、経営・人事に関する業務)ならびに院外(歯科医師会・行政等での会議等)に費やした時間を矢印でご記入下さい。

《用語の定義》

休日 一日を通して通常の勤務が課せられていない日。

休憩 業務を行わず、食事や休養等に費やした時間で、診療・診療外のいずれにも含めない。

《記入例》

◎調査日が「勤務日」の場合

- ・院内診療 : 08:30 - 10:30
- ・訪問診療 : 14:30 - 16:30 (※) 訪問診療には、その準備時間と移動時間も含まれます。
- ・教育 : 10:30 - 12:00
- ・研究・自己研修 : 18:30 - 19:30
- ・会議管理業務 : 13:00 - 14:30

		6:00 7:00 8:00 9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00 18:00 19:00 20:00 21:00 22:00 23:00 24:00 1:00 2:00 3:00 4:00 5:00 6:00																							
勤務日・休日	院内診療	←→																							
	訪問診療	←→																							
	教育	←→																							
	研究・自己研修	←→																							
	会議・管理業務等	←→																							

どちらかに○をつける

休憩(12:00-13:00)は矢印を記入しない

11月15日 (木)

		6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	24:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	
勤務日・休日	院内診療																										
	訪問診療																										
	教育																										
	研究・自己研修																										
	会議・管理業務等																										

11月16日 (金)

		6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	24:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	
勤務日・休日	院内診療																										
	訪問診療																										
	教育																										
	研究・自己研修																										
	会議・管理業務等																										

11月17日 (土)

		6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	24:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	
勤務日・休日	院内診療																										
	訪問診療																										
	教育																										
	研究・自己研修																										
	会議・管理業務等																										

11月18日 (日)

		6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	24:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	
勤務日・休日	院内診療																										
	訪問診療																										
	教育																										
	研究・自己研修																										
	会議・管理業務等																										

11月19日 (月)

		6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	24:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	
勤務日・休日	院内診療																										
	訪問診療																										
	教育																										
	研究・自己研修																										
	会議・管理業務等																										

11月20日 (火)

		6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	24:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	
勤務日・休日	院内診療																										
	訪問診療																										
	教育																										
	研究・自己研修																										
	会議・管理業務等																										

11月21日 (水)

		6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	24:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	
勤務日・休日	院内診療																										
	訪問診療																										
	教育																										
	研究・自己研修																										
	会議・管理業務等																										

◎問25・問26は11月21日（水）が勤務日だった方にお伺いします。勤務日ではなかった方は問27にお進みください。

問25 次の①～④の院内各業務のうち、（1）11月21日（水）の1日に各業務に費やした時間と、（2）現在自分で行っている業務量を100%としたときに他職種（歯科衛生士や事務職員等の他職種）に分担可能と考える割合についてお答えください。

	(1) 11/21（水）に費やした時間	(2) 他職種に分担可能と考える割合
① 患者・家族への説明	%	%
② 予防処置・歯科保健指導	%	%
③ 医療記録（診療録の記載等）	%	%
④ 医療事務（診療情報提供書等の作成、レセコンの入力等）	%	%

問26 11月21日（水）に担当した患者数について、お答えください。

歯科外来担当患者数	人
（うち）医科からの紹介もしくは医科への紹介を行い治療した患者数	人
歯科訪問診療担当患者数	人

問27 現在の働き方を基準として、今後、どのような働き方を希望しますか？1週間当たりの勤務日数の増減についての希望をお答えください。

プラス（増加）、現状維持、マイナス（減少）のいずれかに○をつけて下さい。また、勤務日数の増加もしくは減少を希望される場合は、その希望日数を併せてご記入下さい。

01 プラス_____日程度	02 現状維持	03 マイナス_____日程度
----------------	---------	-----------------

◎ 最後に、歯科医師の働き方についてのご意見をご自由にご記入ください。

設問は以上です。ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

添付の封筒にて密封し、11月28日（水）までに職場の取りまとめ者までご提出ください